

学会記事 Newsletter

I. 日本学術会議への本学会理事会の対応について

1. 日本学術会議会員推薦管理会より昭和62年12月11日付で本学会会長にあて、第14期会員の候補者（7部遺伝医学研連に関して2名、4部遺伝学研連に関して1名）を本学会会員のうちから選定し、昭和63年2月1日までに届け出るよう依頼があった。また同じ日付で、それら候補者の推薦人（遺伝医学研連に関し2名、遺伝学研連に関し1名）および推薦人予備者（両研連に1名ずつ）を本学会会員のうちから指名し、昭和63年2月20日までに届け出るよう依頼があった。
2. 本学会としては、すでに昭和62年11月11日前橋市で開催された理事会（井上英二会長司会）において、井上英二氏を日本学術会議7部関係の次期会員候補者に推すことを決議している。そこで松永会長より同年12月21日、理事6名（三輪、梶井、佐々木、笹月、中込、北川）に個別にアンケートを送り、遺伝医学研連に係る（井上氏以外の）会員候補者および遺伝学研連に係る会員候補者を選定し、さらにそれらの推薦人・推薦人予備者を指名するため、それぞれ適任と思われる者を規定数だけ記名してもらうこととした。昭和63年1月6日までに理事全員より回答が集まり、その結果を集計すると、それぞれの研連に係る会員候補者および推薦人等は、記名数の多い順位に従って自ずから選定することができた。
3. 前記理事会の決議ならびにアンケートの結果をふまえて、会長より日本学術会議に対し、次の諸氏を届け出ることとした。
 - 1) 遺伝医学研連に係る会員候補者として井上英二・松永 英。
 - 2) その推薦人として三輪史朗・松田一郎、推薦人予備者として梶井 正。
 - 3) 遺伝学研連に係る会員候補者として佐々木本道。
 - 4) その推薦人として外村 晶、推薦人予備者として岡島道夫。

(1988年1月7日、文責 松永 英)

II. 投稿規定の変更

昭和62年11月12日の編集委員会（浜口秀夫委員長）で検討のうえ承認され、同日の総会で了承された投稿規定の改正は本号から実施に移すことになり、号末に掲載した。今後はこの投稿規定に従われない。

(編集委員長 三輪史朗)